

校長室だより

令和4年2月

本校卒業後の進路先を決める一助とするため、1年生は職業別の、2年生は学部学科別の各ガイダンスを先月行いました。それぞれ2コマのガイダンスを受講し、各自の将来を考えるきっかけになったと思います。学びをより深めるために大学（のある学部）等へ進学を考える人もいれば、いち早く社会で活躍するために就職を目指す人もいるなど、十人十色の選択が高卒後には待ち受けています。中学から高校への進学時とは大きく異なるため、様々な情報を早期から生徒の皆さんに伝えることで、自分の夢を実現するために一歩でも前に踏み出して欲しい、それがこの行事の主たる目的です。

皆さんが選択したその進路の先には、これから劇的に変化されると言われる「仕事」があります。AIの進歩によって近い将来消えてしまう可能性のある職種や、ワークライフバランスの観点から促進されている働き方改革、コロナ禍で進んだりリモートワーク等、働くことそのものが大いに問われる時代を迎えています。

今まで、私が仕事をするとき心がけてきたのは、目の前の事に精一杯にあたること。そして、少しでもハタ（周囲）がラク（たのしく）になるようにと考えること。

人生の多くの時間を過ごす「仕事」では、自分も周りも沢山の笑顔と笑い声があった方が絶対がいい。そう願うのは、私だけではきつくないと思います。皆さんも、自分の夢を叶える「仕事」に就けるよう、目の前の事に精一杯あたり、日々を大切に送りましょう。